

会社概要

■会社概要 (平成28年3月31日現在)

社名 川本産業株式会社
 設立 昭和6年1月
 資本金 883,000,000円
 従業員数 344名(内、契約雇用者数49名)

■役員 (平成28年6月28日現在)

※代表取締役社長 川本 武誠
 ※代表取締役 福井 博司
 ※代表取締役 水上 徹也
 ※取締役 小澤 将彦
 常勤監査役 矢裂 俊彦
 監査役 日親 上 伸明

(注)監査役日上俊彦、親泊伸明両氏は社外監査役であります。
 ※印の取締役は、執行役員を兼務しております。

■執行役員 (平成28年6月28日現在)

執行役員 二宮 基正
 執行役員 東島 寿序
 執行役員 河野 村亮
 執行役員 花濱 口 武之

■事業所

●本社 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル

支社

●東京支社 東京都江東区東陽6-3-2 イースト21タワー4階

営業所

- 名古屋営業所 愛知県名古屋市西区城西3-12-12
- 広島営業所 広島県広島市中区白島中町2-2
- 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバダンント95 7階

工場

●大阪工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20



■株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
 証券コード 3604

■株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数……………16,000,000株
 発行済株式の総数…………… 6,000,000株
 株主数…………… 1,986名

■大株主 (平成28年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社TK	600	10.3
株式会社ヘルスケア・キャピタル	394	6.8
川本 武	296	5.1
カワモト取引先持株会	288	4.9
株式会社みずほ銀行	249	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	249	4.3
株式会社りそな銀行	175	3.0
川本 洋之助	170	2.9
川本社員持株会	151	2.6
第一生命保険株式会社	100	1.7

※1. 持株比率は自己株式(204,283株)を控除して計算しております。
 2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

川本産業株式会社

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目6番4号 谷町ビル TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、
 植物油インクを使用しています。

川本産業株式会社

証券コード 3604

第86期報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

- P.1……………トップメッセージ
- P.3……………財務諸表
- P.4……………会社概要



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社第86期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。



代表取締役社長
川本 武

当期期末配当につきまして

誠に遺憾ながら、当期の期末配当につきましては、無配とさせていただくことになりました。当期は一部滅菌製品の自主回収を実施した影響により、我が社を取り巻く経営環境は大変厳しいものとなり、大幅な当期純損失という結果となりました。株主の皆様のご期待にお応えすることができず、深くお詫び申し上げます。

Q 当期の業績はいかがだったでしょうか

A 国内の医療衛生材料市場は、人口減少に伴うマーケットの縮小に加え、国による医療費適正化計画の推進の結果引き続き厳しい経営環境が続いております。このような状況の中、自社製造していた製品の一部分外製化による原価低減や各種経費の削減に努めてまいりましたが、一部滅菌製品の自主回収を実施した影響により、大幅な当期純損失となりました。

当社の当期の業績は、売上高は267億65百万円（前年比5.9%減少）、営業利益は2億22百万円（同233.5%増加）、経常利益は23百万円（同46.3%減少）、当期純損失は5億3百万円（前期は10億53百万円の当期純損失）となりました。

当期の売上高は、一部滅菌製品の自主回収を実施した影響により、減少いたしました。また自社製造していた製品の一部分を外製化することで、原価低減に取り組みましたが、売上高の減少を補うには至らず、売上総利益は44億53百万円（同10.6%減少）と減少いたしました。

経費面では拠点集約化を進め拠点維持経費の削減に努め、人員減少に伴い人件費が削減されたこと及び運賃等の販売経費が減少したことにより、販売費及び一般管理費は42億30百万円（同13.9%減少）となりました。

また特別項目では、埼玉事業所等の売却による「固定資産売却益」4億81百万円、保有株式の売却による「投資有価証券売却益」52百万円を特別利益に計上いたしました。一方で、一部滅菌製品の自主回収に伴う対象製品の廃棄損等「製品回収関連費用」5億70百万円、不採算事業の整理を進め余剰在庫の評価減等を実施したことに伴う「事業構造改善費用」1億77百万円を特別損失に計上いたしました。

このような状況から、当期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきたいと存じます。改めて、株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

Q 次期の展望と今後の見通しについてお話しください

A コスト管理の強化による経費の削減を進めつつ、収益性悪化の原因となっているメディカル事業の収益性改善に取り組んで参ります。

次期につきましては、製品回収によりご迷惑をおかけいたしましたお客様からの信頼を一日でも早く取り戻すことができるよう全社一丸となって取り組んで参ります。併せて国の方針である「医療の機能分化・連携と地域包括ケアシステムの整備」を踏まえながら当社の強みを生かした製品の拡販を進めて参ります。

次期の業績につきましては、売上高252億円（前期比5.8%減少）、営業利益0百万円（前期は2億22百万円の営業利益）、経常損失10百万円（前期は23百万円の経常利益）、当期純損失30百万円（前期は5億3百万円の当期純損失）を予想しております。今後も、一段の収益力向上を目指し努力する所存でございます。株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(注)予想数値につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

貸借対照表

(単位:千円)

	平成28年3月期 (平成28年3月31日現在)	平成27年3月期 (平成27年3月31日現在)
流動資産	14,699,514	15,346,177
固定資産	2,140,813	2,933,957
有形固定資産	1,153,954	1,809,593
無形固定資産	80,537	74,435
投資その他の資産	906,321	1,049,929
資産合計	16,840,328	18,280,135
流動負債	7,605,233	7,280,150
固定負債	5,919,752	7,112,224
負債合計	13,524,985	14,392,374
株主資本	3,059,271	3,591,383
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	1,057,936	1,590,027
利益準備金	86,100	86,100
その他利益剰余金	971,837	1,503,927
自己株式	△74,261	△74,241
評価・換算差額等	256,070	296,376
その他有価証券評価差額金	256,070	296,376
純資産合計	3,315,342	3,887,760
負債及び純資産合計	16,840,328	18,280,135

損益計算書

(単位:千円)

	平成28年3月期 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)	平成27年3月期 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)
売上高	26,765,612	28,445,881
売上原価	22,312,072	23,463,813
売上総利益	4,453,539	4,982,067
販売費及び一般管理費	4,230,585	4,915,213
営業利益	222,953	66,853
営業外収益	70,678	72,473
営業外費用	270,291	95,853
経常利益	23,340	43,473
特別利益	533,356	321,937
特別損失	834,384	1,190,119
税引前当期純損失(△)	△277,687	△ 824,708
法人税、住民税及び事業税	13,849	16,124
法人税等調整額	211,575	212,584
当期純損失(△)	△503,112	△ 1,053,417

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	平成28年3月期 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)	平成27年3月期 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△140,766	△48,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	541,714	3,518,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306,194	△2,074,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,367	12,246
現金及び現金同等物の増減額	76,386	1,407,565
現金及び現金同等物の期首残高	3,051,305	1,643,740
現金及び現金同等物の期末残高	3,127,692	3,051,305